110405-1面 11/04/04 20:25 ページ 1

（昭和31年2月4日第3種郵便物認可561号）

THE TOHKAI SHIMPO

東海新報

平成23年（2011年）
4月5日 火曜日

第16006号 日刊（月曜日休刊）

©東海新報社 〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1 TEL0192-27-1000㈹ FAX0192-27-2154 振替口座02300-9-188 http://www.tohkaishimpo.com/

負けるな気仙!! 心をひとつに
復興目指して一歩ずつ前へ!!

きょうの紙面

愛知のNPO団体、住田町でトレーラーハウス拠点にボランティア活動展開中…2面
全国から医療保健・支援チームが保健師とともに避難所中心に健康チェック……5面
郷土出身の著名人たちが被災地を訪問、声と笑顔でふる里に熱いエールを送る…6面

経済再興へ正念場の春

事業再開予定は66%
雇用、融資など相談強化へ
大船渡商議所

大船渡商工会議所（齊藤俊明会頭、会員事業所約1900社）は4日、盛町のサン・リア2階に仮事務所を設け、業務を再開させた。被災した多くの事業主が再開を望む一方、従業員の雇用や事業継続など喫緊の判断に迫られている。会議所では「今が正念場」ととらえ、各事業所から寄せられる雇用や融資、保険などの相談業務を強化し、復興を後押しすることにしている。

仮事務所での業務初日となった4日の朝礼には、齊藤会頭のほか米谷春夫、水野公正、中井昭樹各副会頭が姿を見せ、それぞれが激励の言葉を寄せた。その後、上野直和専務理事が「50年前に襲ったチリ地震津波の際、会議所は中小企業のための融資相談を徹底的に行い、高く評価された。力を込め、地元中小企業のために全力で尽くしてもらいたい」と語り、難局打破への団結を呼びかけた。

会議所施設は港湾に近い大船渡町欠ノ下向地内にあり、事務所があった2階まで浸水。通帳やデータ類など流失したものもあるが、職員28人は無事だった。

被災後、職員らはそれぞれ会員事業所の被災状況や各種支援制度など、復興に向けた情報収集を進めてきた。先月25日以降は、同町の公共職業安定所近くにテントを張り、事業所関係者や一般住民の相談に応じてきた。

3日までの相談総数は202件。各種保険の手続きや、被災して減収が見込まれる中での雇用対応、運転資金の確保、新規借り入れの申し込みなど、内容は多岐にわたった。

また、29日から31日までの3日間、相談に訪れた事業所関係者に対して意向調査を行った。回答した64社中、「事業を再開したい」と答えたのは42社（66%）、「継続を断念したい」は8社（13%）、未定は14社（21%）だった。

再開意思を示す事業所でも、当面まとまった収益が見込めないことから、従業員をいったん解雇する動きが出ている。資金繰り支援や借入金の返済猶予など、事業所継続には緊急を要する案件が多く、商議所職員は「今後地域経済が再生するかどうかは、どのような対応が今できるかにかかっている。まさに正念場」と語る。

その中で力を入れる業務の一つが、相談体制の充実。早速、市や職安、労基署とともに、5日午前10時から猪川町の猪川地区公民館で労働・金融・生活相談会を開催する。15日（金）まで各地区別に開き、住民や事業所の不安解消に努める。

サン・リアでの業務初日も、ひっきりなしに会員事業所の関係者が訪れ、保険や融資などの相談を持ちかけていた。会議所は当面、平日午前10時から午後6時まで業務にあたる。今後は阪神・淡路大震災時の経営相談にあたった専門家をはじめ、日本商工会議所からの人材派遣も求めることにしている。

……正副会頭らのあいさつを聞き、地域経済再興への意欲を高める商議所職員＝盛町

第1波の引き波で破壊
今村教授が分析 30分後、大船渡湾口防波堤

東日本大震災で大きな被害を引き起こした大津波。その第1波（押し波）の引き波が大船渡湾口防波堤を30分後に破壊したことが、東北大学災害制御センターの今村文彦教授の調査で分かった。

今村教授は、先月31日に津波調査で大船渡入りした際、東海新報社に立ち寄り、湾口防波堤が津波に呑み込まれていく様子などを1時間にわたって記録していたビデオ映像（本紙社員撮影）を分析した。

この映像は、3月11日午後3時ごろから撮影が始まった。まもなく3㍍以上の津波（押し波）が20分ほど続いて防波堤にぶつかり、その後、一転して引き波に変わり、急激に潮が引いていくシーンを映し出している。

引き波に変わってから10分ほどで湾口防波堤が外海側に崩落した瞬間も収録。今村教授は「第1波の引き波で堤防が破壊されていることがこのビデオで分かる」とした上で「映像開始から30分で堤防がなくなった。これまでの調査結果をはるかに上回る規模の第1波のエネルギーで、史上最悪の津波が発生してしまった」と驚く。

映像から見た湾口防波堤の機能について同教授は「押し波を低減したこと、津波の伝搬を遅くしたという一定の機能は果たしたが、引き波が長く、しかも甚大だった」と指摘する。

ビデオ映像で津波の特徴を分析する今村教授㊨

ビデオ映像については「湾口防波堤の津波映像が定点観測的に撮影されたのは初めて。機能し、どこまで限界だったかを記録するもので、今後の設計の修正、見直しに役立てられると思う」と話していた。

まだ余震が続いていることには「今後、活動は1年以上続くと思われるが、規模や発生回数は減ってくる。ただ、今回の地震で地盤が下がっている。余震による津波、高波にも注意が必要」と引き続き警戒を呼びかけている。

転校予定は77人
被災児童生徒割合は33%
大船渡市内

大船渡市教委は4日、これまで各小中学校単位で行ってきた児童生徒の家庭被災状況調査をまとめた。住居の流失をはじめ、被災した児童生徒数は、全体の約3分の1にあたる1032人。知人宅に今後住むなど、転校予定者は77人となっている。

市教委では全小中学校22校に対し、在籍児童の被災状況を調べるよう指示。担任らが面談を行うなどして、現況把握を行った。

市内には14小学校に児童合わせて1933人、8中学校に179人が在籍している。このうち、被災した小学生は644人で、中学生は388人だった。

学校別にみると、最も多いのは大船渡中学校で107人。次いで末崎小学校106人、大船渡北小学校101人となっている。被災者がいなかったのは、吉浜中学校だけだった。

父か母いずれかが死亡・行方不明の児童生徒は22人で、両親ともに亡くしたケースはゼロだった。住居被害は5人で、現在も740人が避難生活を送っている。

転校予定者は77人。このうち県外は16人、県内は37人、市内は15人、未定は9人だった。市教委には山形県最上町などから避難児童生徒を対象としたショートステイの打診もあり、対応を検討している。

対面調査では担任らが「津波の夢を見ます」などと問いかけ、今後精神的なケアが必要かどうかもチェック。結果、190人が必要であることが分かった。

市教委では、担任らと児童生徒が触れ合う機会を積極的に設け、「心の支援」を充実させることにしている。

また、市内全小学校は20日（水）に始業式、21日（木）に入学式を行うことが決まった。中学校は各校とも21日に始業式、22日（金）に入学式の予定となっている。

……津波に呑み込まれる大船渡湾口防波堤と湾外に逃げる船

身元不明遺体も火葬
高田一中の仮設住宅32倍

大船渡市

大船渡市によると、3日午後4時30分時点での死亡者数は279人で、2日よりも3人増えた。犠牲者のうち、新たな身元判明者は4人。立根町のおおふなと斎苑などで火葬が順次行われている。

同町の大船渡一中が安置場所となっていたが、4日で閉鎖。遺体は盛町の市民体育館に移送された。市では5日、県警から身元不明遺体の引渡しを受ける予定。損傷が激しい遺体は火葬を行い、遺骨と遺留品を同館で保管することにしている。

行方不明者は236人。自衛隊や警察、海上保安庁、消防署による捜索活動は、大船渡町内の市街地や大船渡湾などの海上で行われた。

避難所は市内に53カ所あり、避難者数は3441人。避難者数は、ピーク時の4割ほどに減少した。電気の復旧に伴い自宅に戻る住民が増えている半面、通電していない地域の避難施設では増加もみられるという。市では4日、北上市和賀町に55人が一時避難したことも明らかにした。

災害ボランティアは、3日時点での累計では1215人となった。市災害義援金には72件の善意が寄せられ、総額では1479万円となっている。

陸前高田市

陸前高田市によると、住宅被害数は3600戸で、被災人員は1万547人。3日午後6時現在の死亡者は前日より7人多い1095人となり、2、3の両日で30人の身元が判明した。

遺体安置所のうち、矢作中の遺体は学校の授業開始準備に伴って矢作小に移動。このため、米崎中、矢作小両校の体育館と住田町スポーツセンターの3カ所となった。開所時間は午前8時30分から午後5時まで。

行方不明者は4日午後4時現在で1231人と、前日より63人増えた。増加の要因を、市は「第一中学校での安否調査の結果、所在が分からない市民がいたことが明らかになったため」と説明している。

避難所は同日同3時現在で83カ所設置され、避難者は前日より7人多い7272人。

住田町

4日正午現在、住田町民の行方不明者は紺野仁さん（上有住桧山）佐々木洋子さん（下有住新切）の2人。災害対策本部では引き続き情報収集と提供を呼びかけている。

独自に建設している仮設住宅93戸（世田米旧町営住宅火石第一団地13戸、同旧住田幼稚園17戸、旧下有住小63戸）について、5日午前10時からと午後3時からの2回、町生活改善センター（町役場敷地内）で説明会を開く。

入居の申し込み受け付けは翌6日から12日（9、10日も開庁）までを予定しており、説明会への出席を呼びかけている。問い合わせは、町建設課住宅係（TEL0228・683・7547内線212）へ。

安否情報伝言メモ

▽大船渡市盛町下舘下7の26、新谷武（ニイヤ・タケシ）を捜しています。勤務先は東海タクシーです。連絡先は兄の新谷仁（TEL0190・4631・5622）まで。

▽柴犬を捜してます。名前はエル（メス）で茶色、赤い首輪。人なつこい。連絡先は村上（TEL090・3365・2784）まで。

世迷言

復興はまず心からである。失ったものはあまりに大きすぎるが、それを取り戻すには発想を転換し、原点に立ち返ることが求められよう。お手本は終戦直後の「闇市」である▼焼け野原となって衣食住すべてが失われたその跡地に出現した闇市は、多くの財閥がそこから始まった「戸板商法」つまり無店舗経営同様、とにかく商品をそこに並べることに意味があった。米軍の放出品、横流しなど流通過程が〈わけあり〉の商品が多かったことから闇市の名が付いたが、売る方も買う方も生きるためにそれを必要とした▼大津波で店も商品も奪われた状態で営業再開を図るには、まず商品を確保することが先決だが、それを並べるには売り場が必要。しかしそれはプレハブなどの仮設で十分だろう。チリ地震津波で被災した商店の少なからずがそうして一時をしのいだ。商店だけでなく、レストランも食堂も居酒屋もそうして再開の看板を掲げることだ▼この未曾有の天災は被害だけでなくちょっぴりプラスの変化ももたらした。アパートから空き室が消え、空き家がふさがっていく。過疎地が活性化し、遊休地が息を吹き返してきている。不振にあえいでいた林業、木材業が元気となり、土木建築、解体、産業廃棄物処理、資材販売、運送など復興関連はウケに入るだろう▼閑古鳥が鳴いていた花巻空港が他の交通網の被災で臨時便がじゃんじゃん増発されているのは皮肉だが、このように禍の裏には福もある。失業を機に起業して成功する人も出てくることは疑いない。

天気

◆きょう 晴れ
◆あす 晴れ

海上（波の高さ）

◆きょう 1m
◆あす 1m

きのうの気温（右は平年比、△高 ▼低）

◉最高 7.8℃ ▼3.7
◉最低 -2.5℃ ▼4.6

おとといの気温（右は平年比、△高 ▼低）

◉最高 8.4℃ ▼2.8
◉最低 1.7℃ ▼0.2

あすの暦

4月6日（旧3月4日赤口）

日出	5：10	満潮	4：09
日入	18：00	〃	17：30
月出	6：03	干潮	10：57
月入	20：42	〃	22：51
月齢	2・5	—中潮—	（大船渡湾）

この度の地震・津波災害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
全力を挙げてお客様のご要望にお応えしていきたいと思います。このような大変な状況ですが、力をあわせて頑張りましょう!

住宅に関するご相談
リアスホームでは3月22日より営業を再開しております。
【営業時間】午前10時～午後4時
【連 絡 先】080-1849-2145
(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター登録
増改築相談員がいるお店!
建設業許可:岩手県知事(般ー21)第90078号
株式会社リアスホーム
大船渡市猪川町字前田12-5 TEL0192-47-3687

解体・被災した家屋の片付け等、ご相談下さい
お気軽にお問い合せ下さい。
【受付時間】午前10時～午後3時
【連 絡 先】0192-26-6480
建物解体工事・型枠・土木工事・自己処理場完備
とび・土木工事業岩手県知事(般-18)第90069号収集運搬業岩手0305108672号
有限会社三陸解体
大船渡市立根町字細野4-58

この度の大災害で被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心からお祈りいたします。
空き家・売り地情報をお寄せ下さい
【受付時間】午前10時～午後4時
【連 絡 先】
090-7060-3890
岩手県知事(1)第2378号・㈳岩手県宅地建物取引業協会会員
㈳全国宅地建物取引業保証協会会員・賃貸不動産管理業協会会員
土地・建物・アパート・マンション・貸家
こんの不動産
大船渡市盛町字舘下2-40 TEL.0192-47-3177